

社員の発想融合させ アイデア生む環境作り

奥野製薬工業は、プリント基板、アルミニウム、プラスチック向けの表面処理薬品の製造・販売事業を中心に無機材料、食品の各事業も手掛けている。同社の製品はスマートフォン、家電製品などに幅広く使われている。強みを持つアルミニウム表面処理剤の開発、製造では前処理から後処理まで一気通貫で対応する生産体制を構築。先を見据え、カーボンニュートラルや次世代半導体を視野に入れた研究開発に力を入れている。

「ほんとうに愛される製品をつくり、

奥野製薬工業

みんなに愛される人になれ」を社是として掲げる。社は毎月初めに全社規模の朝礼や各支店の朝礼、日々の業務を通じて全社員に常に意識してもらうようになっているという。

社員一人一人の柔軟な発想と、その融合を創業以来大事にしている。デスク配置のフリーアドレス化を進めるなど、社員同士がコミュニケーションを通じてアイデアを生み出しやすい環境づくりに力を入れている。社員の負担軽減と生産性向上を実現するために、顧客やユーザー対応といったさまざまな情報を複数の関係部署で共有化するシステムを導入するなど、DX関連の設備投資も進めている。

2025年度の売上高目標額を400億円に設定している。今後、強化していきたいと考えているのが半導体向けの製品。現在、表面処理の新工場を建設しており、2年前に立ち上げた新事業推進部を中心に新規事業の開拓を進めていく。産業のあらゆる分野において支えとなる先進技術を社会貢献のために提供していきたいという。



大賞を受賞した奥野製薬工業の奥野和義社長（右）

- ▷ 本社—大阪市中央区道修町4丁目7番10号
- ▷ 社長—奥野和義
- ▷ 事業内容—表面処理薬品、食品添加物製剤、電子部品用ガラス材料の製造・販売